

ヒブと子宮頸がんの

ワクチン接種費用を助成

～費用の半額相当額を市が独自に～



市民一人ひとりの生活様式にあった健康づくりを支援するため、市では、「健康づくり推進計画21」に基づき、生活習慣病予防や乳幼児の栄養指導などに取組んでいます。

一方で、乳幼児期に発症すると死亡や後遺症を残す可能性が高い「細菌性髄膜炎」の主な原因菌のヒブと、全国で年間約1

万5千人が発症し、約3千500人が死亡しているとされる子宮頸がんのワクチン接種は、全額自己負担の任意接種で、保護者の費用負担が大きいことから、市では助成の検討をしてみました。

接種は指定医療機関で

そこで、10月15日からは、市民の皆さんが受ける、ヒブと子

宮頸がんワクチン接種費用の半額相当額を、市が独自に助成しています。

対象者は、ヒブワクチンが生後2か月から5歳未満の乳幼児で、子宮頸がんは、小学5年生から中学3年生までの女子です。

また、助成額はヒブが1回4千円（接種開始年齢により4回まで）で、子宮頸がんが1回9千円（3回まで）ですが、いずれも市の指定医療機関での接種が対象となります。

指定医療機関と接種できるワクチンなどの一覧は、市報10月15日号2面の表をご覧ください。

助成の手続きは不要です

また、接種を希望する方は、事前に指定機関への予約が必要で、受診時には、母子健康手帳をご持参ください。

なお、接種後の医療機関への支払いは自己負担のみで、助成の手続きは不要です。

【問合せ】保健センター ☎7125-1188・関宿保健センター ☎7198-5011

助成額と窓口支払額

医療機関での窓口支払額は、接種費用から助成額を差し引いた金額となります。

《助成額》	
ヒブ	4,000円
子宮頸がん	9,000円
窓口支払額 = ワクチン接種費用 - 助成額	

※接種費用は医療機関により異なりますので、各医療機関に直接お問合せください。

11月1日^{から}

過密化解消に向け 3つの学童保育所開設



写真は山崎第二学童保育所

市では、既存の学童保育所の過密化を解消するため、小学校の余裕教室などを利用して、10月1日に清水・岩木・七

光台・尾崎・関宿中央の5か所の第二学童保育所を開設しましたが、11月1日からは、さらに野田・柳沢・山崎の3か所を開設します。

運営は、実績のある社会福

祉協議会です。

みは随時行っていますので、開設時間や料金など詳しくはお問い合わせください。

なお、平成23年4月には、南部・宮崎・みずきにも学童保育所を新設する予定です。

【問合せ】児童家庭課

12月1日^{から}

乳幼児医療費助成を 小学校3年生までに拡大

～名称は「子ども医療費助成」に～



市では、「野田市エンゼルプラン」に基づき、休日保育や訪問型一時保育など、総合的な子育て支援事業を積極的に行っていることが評価され、平成16年国「子育て支援総合推進モデル市町村」に指定されました。

また、特に経済的な理由から皆さんからのご意見が多かった、乳幼児医療費助成を段階的に見直し、20年度には小学校就学前までに拡大しました。

さらに、より一層子育てしや

すい街を目指すため、今年12月1日からは、対象を小学校3年生までに拡大し、名称を「子ども医療費助成」に改正します。

なお、「子ども医療費助成」の自己負担額は、入院が1日200円、通院が1回200円（市民税が非課税かつ均等割のみの世帯は無料）、保険調剤分は無料です。

新たに対象となる方は申請を

小学校1年生から3年生までの子どもがいる世帯には、お知

らせと受給券交付申請書を10月中旬に送付しました。

申請には、①受給券交付申請書、②子どもの健康保険証の写し、③保護者の市町村民税が確認できる書類、22年1月1日に野田市以外に住んでいた方のみが必要で、郵送で申請するか、児童家庭課、関宿支所、各出張所の窓口で手続きをしてください。

なお、11月8日頃まで（郵送の場合は同日到着分まで）に申請された方には、受給券を11月末までに郵送します。

※23年3月31日困までに申請をすることで、22年12月1日にさかのぼって助成が受けられます。

【問合せ】児童家庭課